

平成29年度熊本研修

毎年、希望者を募って行なわれる生徒県外研修が11月5日～7日にかけて行なわれ、生徒9名が熊本へ研修に行きました。本研修は震災被害にあった熊本を訪れ、生徒が直接被災状況を目にし、現地の方の体験談を聞くことで、復興はまだ完全でないこと、熊本地震を風化させてはならないことを北九州に持ち帰り伝えることを目的の一つとしています。初日は阿蘇周辺から益城町、西原村周辺をバスで移動しました。熊本の名物料理を堪能し、被災地を見学しました。予想以上に復旧が進んでおらず地震の恐ろしさを実感しました。



二日目は熊本城主に文化祭等で集めた寄付金を贈呈し、熊本城周辺を見学しました。いくつもの城壁が崩れ、復旧までにはかなり時間がかかりそうです。その後、班別自由研修として熊本城、熊本市現代美術館、木下大サーカスを訪れ、それぞれ研修を行ないました。



最終日は熊本県立水俣高校を訪問し、生徒交流会を行ないました。水俣高校はスーパーグローバルハイスクールとしてスロベニアやシンガポールなど様々な国と国際交流を行なっています。生徒たちは互いに多くの刺激を受けていました。この経験を本校に持ち帰り、今後の学校生活にしっかりと還元してくれることを期待しています。

